

神奈川県立非文字資料研究センター 2009 年度第 4 回公開研究会

EBIKI—日本文化研究資料としての「絵引」

日本の「絵引」から世界の EBIKI へ

開催趣旨：

『絵巻物による日本常民生活絵引』は、過去に制作された図像から情報を引き出し、研究データとして活用するためのものであり、世界に例を見ないユニークな編さん物である。非文字資料研究センターでは、それを世界的な共有財産にするためマルチ言語版 EBIKI の編纂を進めている。日本の歴史的物事を他の言語で表現し、それぞれの文化に情報として提供することは困難な仕事である。EBIKI の問題点と活用法について様々な専門分野の研究者から意見を出してもらい、EBIKI の意義と価値を検討する。

日 時：2009 年 12 月 5 日（土）13：30～17：00

会 場：神奈川県立大学 横浜キャンパス 17 号館 215 教室

プログラム

◇13：30～13：40 **開会挨拶** 福田 アジオ（非文字資料研究センター センター長）

◇13：40～14：00 **趣旨説明・問題提起**

ジョン・ボチャラリ（非文字資料研究センター 研究員/東京大学大学院総合文化研究科 教授）

◇14：00～14：20 **報告 1 「袖細・上衣・直垂—絵引の名付けをめぐって」**

中井 真木（非文字資料研究センター 研究協力者/東京大学大学院総合文化研究科 博士課程）

（休憩 10 分）

◇14：30～14：50 **報告 2 「穿袖の謎—フランス語圏で絵引をどう使うか」**

アレクサンドル・マンジャン（非文字資料研究センター 研究協力者/立教大学ランゲージセンター 教育講師）

◇14：50～15：10 **報告 3 「絵引を探る—世界の Ebiki,あるいは Pictopedia に向けて」**

君 康道（非文字資料研究センター 研究協力者/東京大学大学院総合文化研究科 専任講師）

（休憩 10 分）

◇15：20～15：40 **コメント 1** 韓 東洙（韓国漢陽大学校建築大学 教授 通訳付き）

◇15：40～16：00 **コメント 2** 福田 アジオ

◇16：00～17：00 **質疑・討論・総括** 司会 ジョン・ボチャラリ

◇司会・進行 ジョン・ボチャラリ

（問合せ先） 〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1

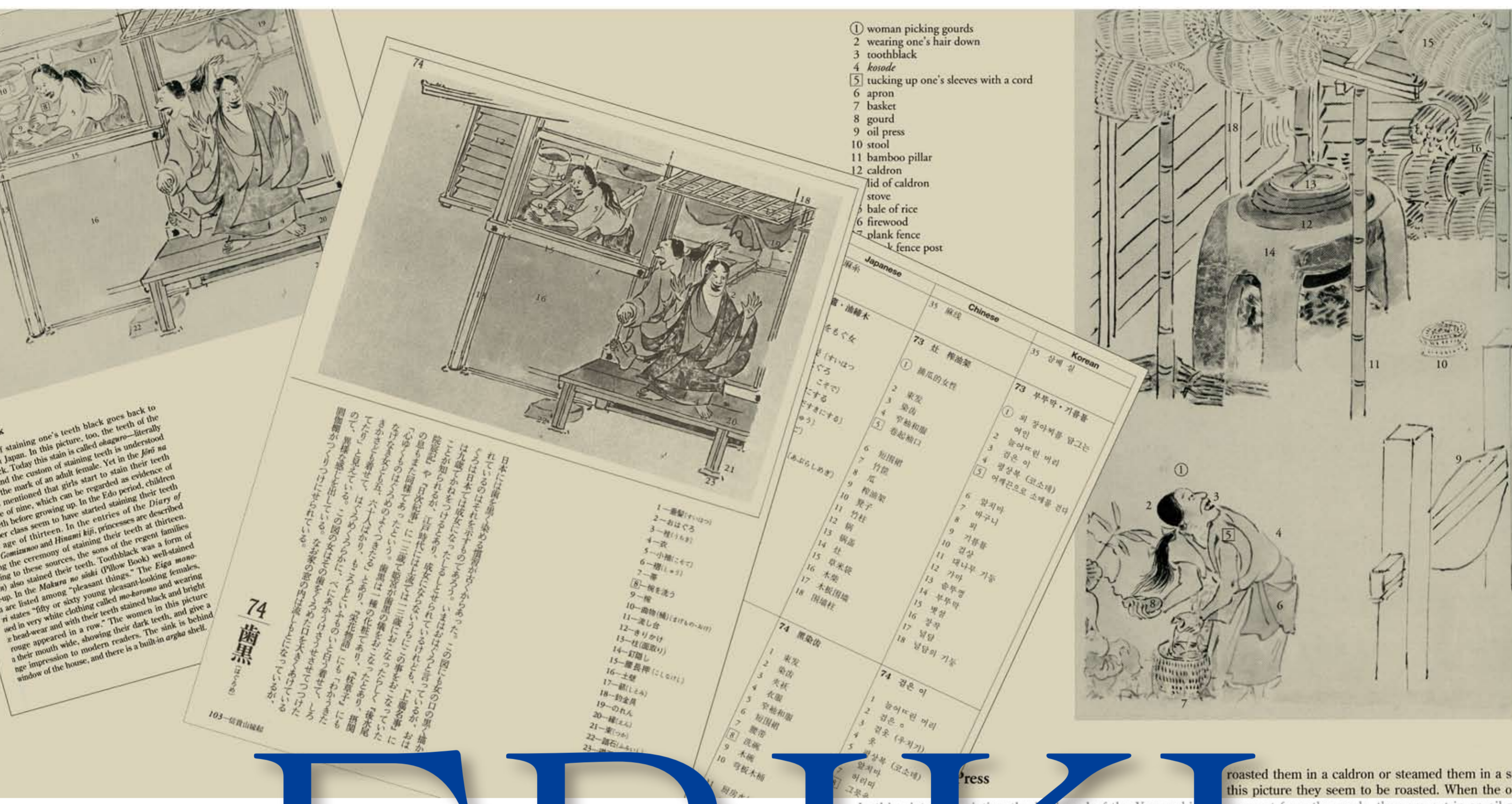
神奈川県立大学非文字資料研究センター 事務室

Tel. 045-481-5661（内線 3532） Fax. 045-491-0659

主 催：神奈川県立大学日本常民文化研究所 非文字資料研究センター

参加 / 無料

日本の「絵引」から世界のEBIKIへ



EBIKI

日本文化研究資料としての「絵引」

2009年度 神奈川大学非文字資料研究センター 第4回公開研究会

開催日時：2009.12/5 (土) 13:30 ~ 17:00

会場：神奈川大学 横浜キャンパス 17号館 215会議室 **参加/無料**

■開会挨拶 福田 アジオ

■趣旨説明・問題提起 ジョン・ボチャラリ

■パネリスト報告 (14:00~15:10)

中井 真木 「上衣・袖細・直垂—絵引の『名付け』をめぐって」

アレクサンドル・マンジャン 「穿袖の謎—フランス語圏で絵引をどう使うか」

君 康道 「絵引を探る—世界のEbiki,あるいはPictopediaへ向けて」

■コメント (15:20~16:00) 韓 東洙/福田 アジオ

■質疑・討論・総括 (16:00~17:00) 司会 ジョン・ボチャラリ

主催： 神奈川大学 非文字資料研究センター
日本常民文化研究所

問い合わせ先：

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1 神奈川大学 非文字資料研究センター事務局

Tel：045-481-5661 (内線 3532) Fax：045-491-0659

